

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（草刈・除草による事故）

### 事故概要：

草刈機を用いての除草作業中、作業箇所と反対側の車線を走行中の一般車両に飛び石が当たり、運転席側の窓ガラスが破損した。

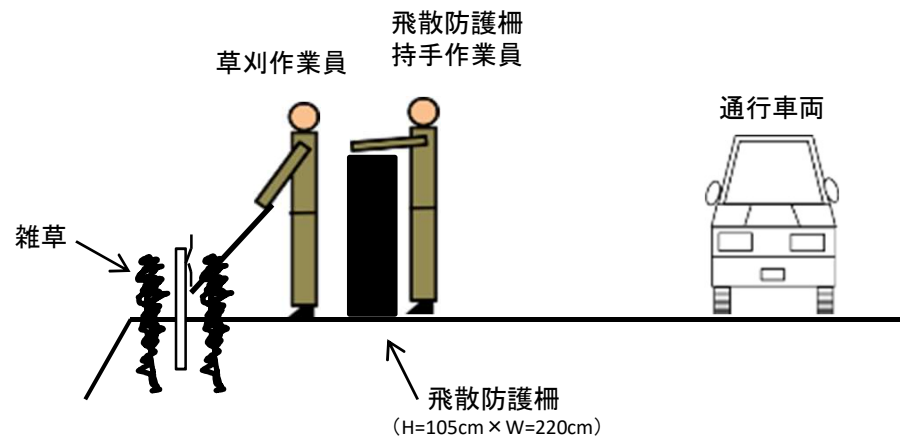
### 事故原因：

- ・飛散防止柵と草刈機の間隔が離れており、防護が満足に行われていなかった
- ・大雨警報が発令されており、注意力が低下していた

### 改善対策：

- ・飛散防止柵と草刈機の距離を常に適切な距離を保ち、通行車両がある場合はいったん作業を止める
- ・異常気象時は作業を中止する

< 事故時横断面図 >



分類：準備工、草刈

被害状況：一般車両の窓ガラスを破損

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（草刈・除草による事故）

### 事故概要:

堤防道路の除草作業中、通行者から、飛び石で車のガラスが破損したと申し出があった。

### 事故原因:

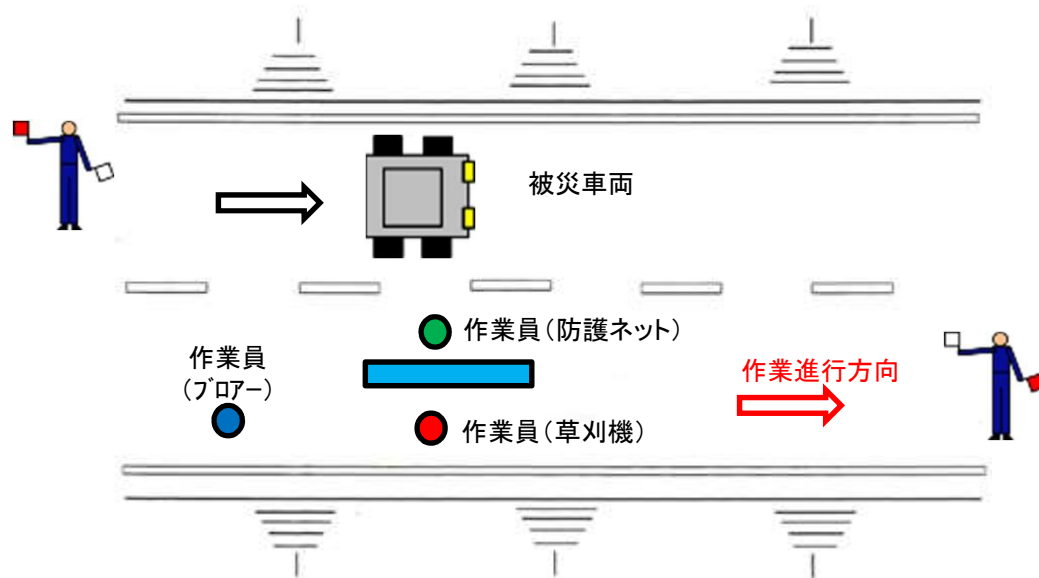
飛散防止柵を用いていたが、柵を飛び石が超えた

### 改善対策:

- ・飛散防止柵と回転刃の間をできる限り近づける
- ・車両通行時には除草を極力しない
- ・あらかじめ飛散しそうな石は除去する

### 事故発生状況

### 平面図



分類: 準備工、草刈

被害状況: 一般車両のサイドガラスを破損

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（除草・草刈による事故）

### 事故概要:

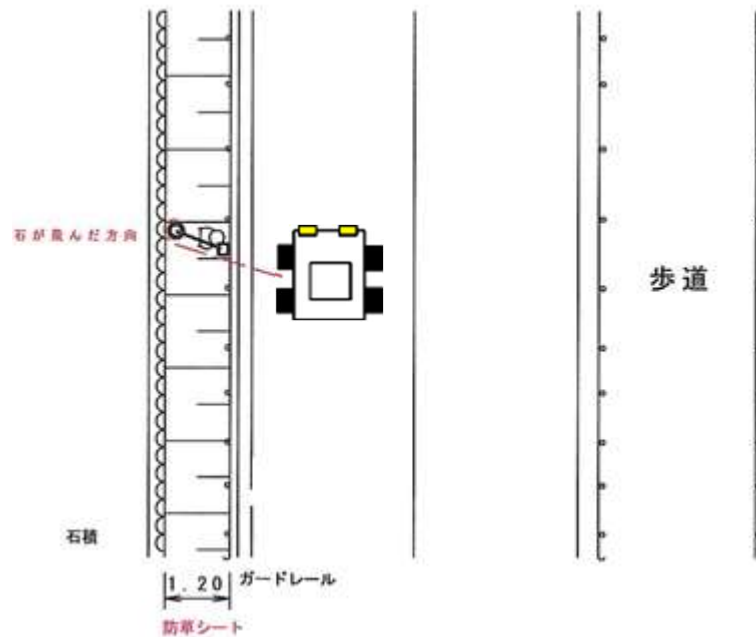
草刈機による除草作業中に小石が飛び、通行車両の助手席側フロントガラスに当たり破損した。

### 事故原因:

- ・飛散防護板を使用していなかった
- ・飛散の恐れのある石等の回収の指示をしていなかった

### 改善対策:

- ・防護板使用の徹底
- ・飛散しそうな石等の除去を事前に行う
- ・通行車両の状況の監視を怠らない



分類: 準備工、草刈

被害状況: 通行車両の助手席側フロントガラスを破損

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（除草・草刈による事故）

### 事故概要：

作業員が肩掛け式除草機で除草作業中、現場付近に不法投棄されていた鉄くずを草刈機の刃で跳ね飛ばし、自分の右足に当たった。

### 事故原因：

除草作業前の現場確認が不十分だった

### 改善対策：

事前の現場確認と除去を徹底する



分類：準備工、草刈

被害状況：5日間の局所安静加療（右下腿挫創）

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（草刈・除草による事故）

### 事故概要:

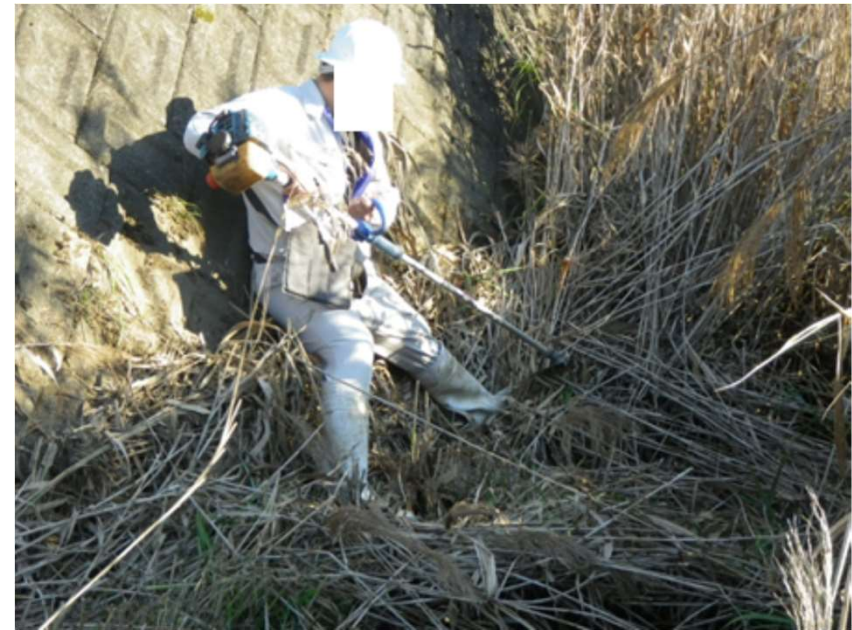
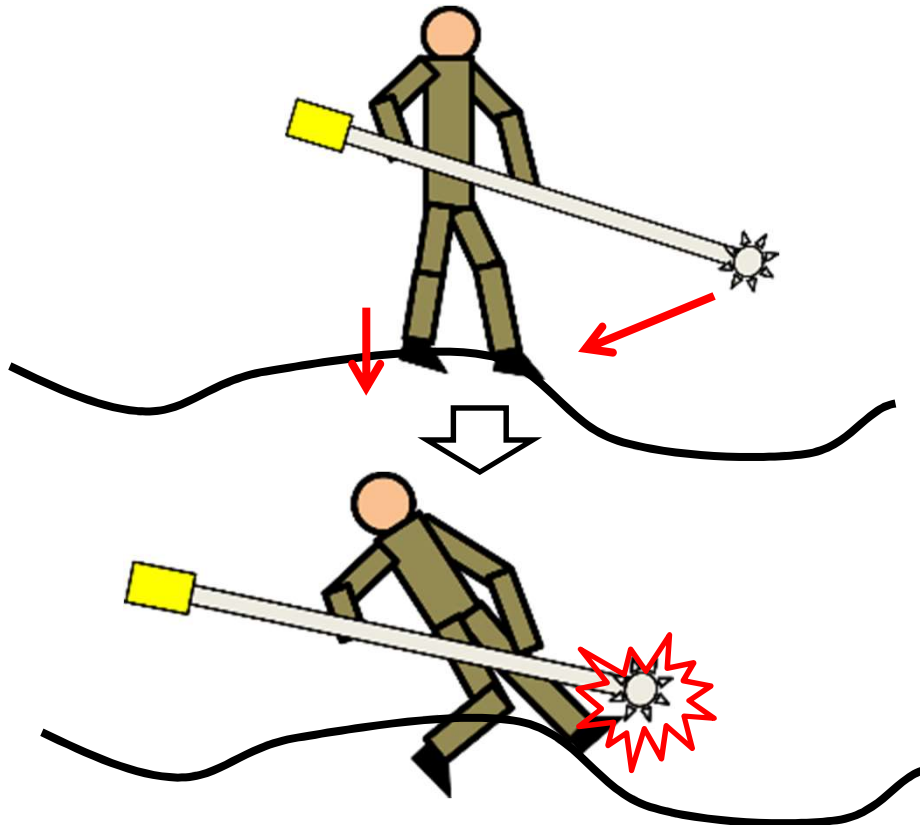
土砂掘削の準備工として肩掛け式草刈機で作業中、段差のある場所で右足を踏み外し、左足が上段に残った状態のところへ草刈り機の刃があたり負傷した

### 事故原因:

- ・本人の不注意

### 改善対策:

- ・安全教育の徹底
- ・安全衛生教育受講者が作業に従事する



分類: 準備工、草刈

被害状況: 全治6週間(左第2趾挫傷他)

## 平成28年度に建設工事で発生した事故事例（除草・草刈による事故）

### 【事故概要】

河川改修工事の準備工において、草刈機により河岸法面の除草作業をしていた際、切株に刈刃が当たってキックバックを起こし、前に踏み出していた当作業員の右足の甲に接触、負傷した。

### 【事故原因】

- ・作業箇所の確認不足
- ・肩掛けベルト(腰固定ベルト)の未着用
- ・防護カバー位置をずらしていた

### 【改善対策】

- ・作業箇所の安全確認
- ・肩掛けベルト(腰固定ベルト)の着用
- ・防護カバーを正しく装着



【分類】準備工、草刈

【被害状況】右足部挫創 約1ヶ月の安静加療

## 平成30年度に建設工事で発生した事故事例（除草・草刈による事故）

### 【事故概要】

現地測量を行うため草木の伐採作業中に防犯カメラのケーブルを切断した。

### 【事故原因】

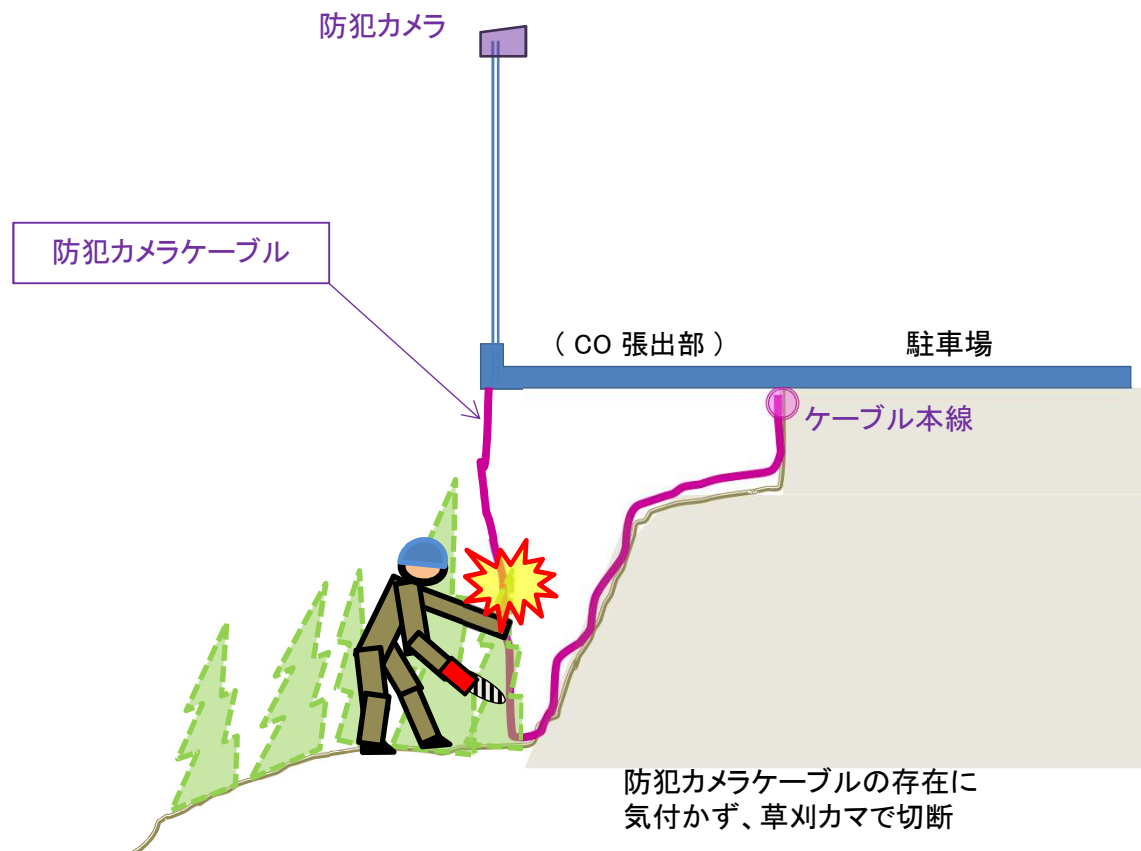
・隣接する駐車場に防犯カメラがあるにも関わらず、支障物件の確認を実施せず伐採作業を行った

### 【改善対策】

・伐採作業を行う場合は、事前に破損・切断の恐れがある支障物の存在を周辺関係者に聞き取りを行い、目視にて確認後必要に応じて目印を付けて作業を行う  
・安全情報管理チェックシートに「伐採時の注意」を追記する



防犯カメラケーブルの切断状況



【分類】 準備工、草刈

【被害状況】 防犯カメラケーブル切断（約6時間後に復旧）

## 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（草刈り機による事故）

### 【事故概要】

被災者が、測量作業に支障となる草や雑木の伐採を行っていたところ、草刈り機につる草が絡まり、除去するために肩掛けを付けたままつる草を引いたところ、回転している刈刃に左手が接触し負傷した。

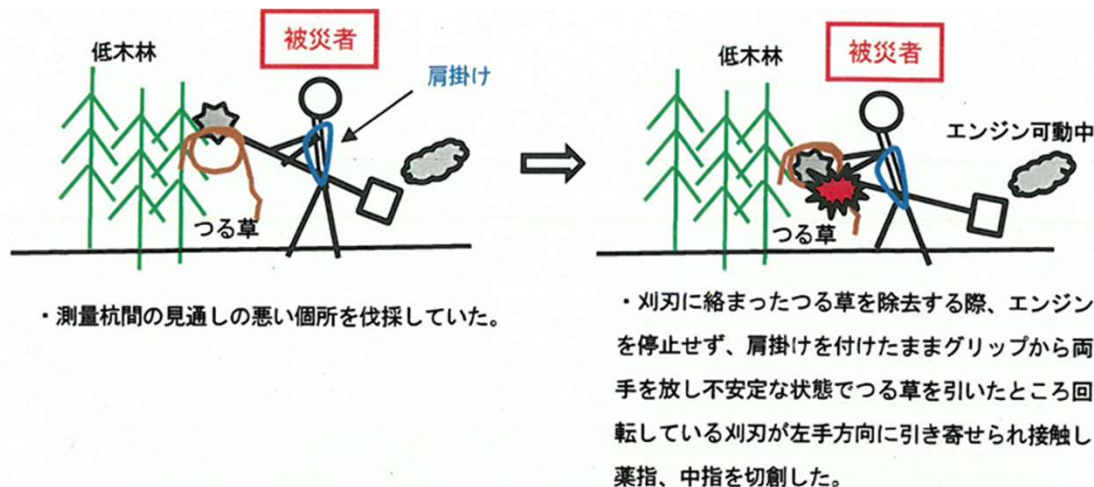
### 【事故原因】

- 被災者が「刈払機取扱作業安全衛生教育」等の安全教育が未受講であるにもかかわらず、草刈り機による作業に就かせた。
- 危険作業を実施する上で必要となる保護メガネ、手袋等保護具の配備を怠った。
- 作業開始前にKYミーティングを実施したが、刈払い機等危険作業にかかわる確認事項が十分でなかったため、作業者の刈払い機使用作業への危険予知が乏しく、エンジンを停止させず刈刃に絡まったつる草を除去しようとした。

### 【改善対策】

- 「刈払機取扱作業安全衛生教育」を全部員が受講し、受講者のみが作業に従事する。
- 刈払い作業は、防塵眼鏡、手袋、すね当て等の安全装備の装着を徹底する。
- KY活動表へ刈払い機使用時にかかわる要注意事項の追加、及び社内安全規定の改定を行い、社内研修、KYミーティングで危険性の周知を徹底する。

事故現場状況図



事故現場状況写真



【分類】 準備工、草刈

【被害状況】 業者人身 男性 1人 左環指等挫創(2週間の加療)